

2023年12月7日

## 2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人調布ハンディキャブ

代表者・役職名 氏名 理事長 山崎雅人

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

利用会員との「互助精神」確立のための交流会

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

1979年に調布市が福祉事務所で開始した事業が、調布市社会福祉協議会に業務委託されました。その後、事業遂行上法人格が必要となり、2006年4月に当時のボランティア仲間が要請をうけ「特定非営利活動法人調布ハンディキャブ」が設立されました。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

移動制約者になってから通院以外の外出がほとんどないため「外出イベントの開催をしてほしい」との希望があり、利用者だけではなく付き添いのご家族の息抜きとなるような場を提供したいと考え、利用者と当法人との交流により互助の精神を再確認できる機会となる外出イベントを実施・計画しています。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

利用者とスタッフの交流を主に、利用者の社会参加もかね、近隣の公園や美術館などの散策・見学・及び昼食会を開催、また、それに伴う送迎も行います。外出リハビリを兼ねての社会参加を目的に、夕方から夜にかけて遊園地のイルミネーション散策を行いました。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

4日開催し、延べ20名の参加となりました。車イス移動や介助が必要な方、またその介護をするご家族の方は夜間の外出が難しいため、今回の幻想的な夜間イルミネーションは大変お喜びいただけました。障がい者でも乗れるアトラクションなども楽しまれ、遊園地に行ける日が来るとは思わなかったとお言葉をたくさんいただき、社会参加の一助になれたと考えております。またスタッフも利用者の喜ぶ姿を拝見し、さらなる活動意欲がわきました。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今回、参加されたすべての方から大変な感謝とお喜びの声を頂戴したので、引き続き利用者の皆様が日常では体験することが難しい外出イベントを企画したいと考えております。

### 7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください。



